本日は、板橋第十小学校　第７５回卒業式の開催にあたり、ご多忙の中、多くのご来賓の方々にご参列いただきました。日頃より、本校の教育活動に対しまして、温かいご支援、ご協力をいただいていることに、感謝申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。また、これまで、本校の教育活動に対しまして、温かいご支援、ご協力をいただいたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

これからの皆さんは、勉強に、スポーツに、趣味に、いろいろなことができる、人生の輝かしい時代に入ります。まぶしいくらいすてきな経験をたくさんして、すばらしい思い出を創ることでしょう。

しかし、大きな壁にぶつかり、落ち込んだり、悩んだりすることもたくさんあるはずです。板橋第十小学校を巣立ち、新たな道に進む皆さんに「ＯＮＥチーム」という言葉を贈ります。

ＯＮＥチームとは、２０１９年に日本で開催された、ラグビーワールドカップにおける日本代表チームのテーマです。

ラグビーの代表チームは、その国の国籍をもっている選手が選ばれるわけではありません。国籍がどこであろうと、一定の条件を満たせば日本代表に選ばれるため、選手のルーツは様々です。そこで、ＯＮＥチームというテーマが必要になりました。ＯＮＥチームには、「出身地や文化、様々な背景をもちつつも、その違いを乗り越えて一つに結束したチーム」という意味が込められています。

ＯＮＥチームのポイントは、「違い」を乗り越えることです。

皆さんの隣にいる友達を見てください。誰一人として同じ人はいません。見た目だけでなく、それぞれの性格や得意、不得意も違います。同じ学校から卒業する人であっても、一人一人は違うのです。ましてや、日本中、世界中には自分と違う人々がたくさんいます。その違いを理解し、違いを乗り越えた先に、大きな力が生みだされます。同じじゃないから強くなれるのです。

もし、皆さんが自分一人の力ではどうにもならない壁にぶつかった時には、「ＯＮＥチーム」で立ち向かいましょう。力を合わせれば、壁を乗り越えられるかもしれません。壁を壊せるかもしれません。もしかしたら、思いもよらない抜け道を発見できるかもしれません。

新しいメンバーとの出会いは、「ＯＮＥチーム」をつくる大チャンスです。新しい環境の中で、それぞれの違い理解し、良さを生かして一つになる「ＯＮＥチーム」をつくってください。繰り返しますが、同じじゃないから強くなれるのです。

卒業生の皆さんは、新型コロナウイルス感染症による臨時休業や分散登校を経験するなど、教育活動の実施にあたり、様々な影響を受けました。また、旧校舎の体育館で入学式を行い、プレハブ校舎を経験するなど、教育環境の変化にも様々な影響を受けました

そのような中でも、常に笑顔を絶やさず、誰とでも協力し、仲間と共に、新しいことに次々と、楽しんで挑戦する姿は、大変立派でした。皆さんのその姿は、板橋第十小学校のレガシーとして、きっと後輩に受け継がれていくことでしょう。

板橋第十小学校の教育理念は、「学校と社会をつなぎ、子どもたちの未来を拓く」です。皆さんが生きる１０年、２０年、３０年後の社会は、現在の常識では予測不可能な社会です。だからこそ、それぞれの思い描く幸せを、自分自身の手で実現してほしいと考えています。

最後に、卒業生の皆さんの、輝かしい未来での活躍を祈念して、式辞といたします。

令和六年三月二十五日

板橋区立板橋第十小学校　校長　冨田和己